

# 成瀬の風

東成瀬村立東成瀬中学校

学校報：NO26 作成者：伊藤

発行：令和元年12月25日(水)

## 心穏やかな新年を お迎えください

☆ 12月31日(火)で、令和元年が終わります。何かと慌ただしい年の瀬でも、除夜の鐘の音を聴くと、しみじみと1年の終わりが実感されるものです。

除夜の鐘の「除」ということばには、古いものを捨て、新しいものを迎えるという意味があります。

また、1年の最後の日であると共に、新年を迎える日となる大晦日は、別名「除日」とも呼ばれています。

その除日の夜に、お寺でつく鐘を「除夜の鐘」と呼びます。

「人間に百八(108)あるといわれる煩悩(人の心を惑わせたり、悩ませ苦しめたりする心)を祓うために、その煩悩の数だけ鐘を打ち鳴らす」とされています。



新しい年を、どのように迎えるかは人によって様々です。故郷で家族と過ごしている人もいれば、仕事中的人もいることでしょう。

除夜の鐘を聞きながら、または、1年の仕事を終えた後に、今年はどうだったかを振り返ってみてはいかがでしょうか。

新しい年がよい年でありますように。

今年最後に、生徒たちに贈ることば

- ・くよくよしない。《過去は変わらない》
- ・先のことを心配するな。  
《未来はわからない》
- ・今できることを精一杯頑張る。

**道は拓ける！**

☆ 12月28日(土)から令和2年1月5日(日)まで、学校を閉鎖します。学校には職員がいません。お子さんに何かあった場合は、学級担任または学年主任に電話で連絡してください。

※ 学校の閉鎖期間は、ALSOK(東北総合警備保障)が校舎の警備を行います。

☆ 12月に入り、湯沢市内の大型商業施設で不審者が出ています(2件)。2件とも不審者は特定されましたが、今年是不審者の目撃情報が多いように感じます。一人または友人同士で出かける時だけでなく、ご家族と一緒にの時も十分注意をさせてください。

## ふるさと先生講話

☆ 先週17日(火)、黒川美加氏(椿川小学校卒業、共同通信社勤務)による「ふるさと先生講話」を開催しました。演題は「続けること、あきらめない」です。

黒川氏は、ジャーナリストの精神と役割、責任の重さなどについて、例を挙げながら話してくださいました。



また、「準備不足や勉強不足は必ず失敗する」などの体験談や、「自分がやりたいと思ったことを、最後までやり通す」という熱い思いを生徒たちに話してくださいました。

会の最後に、吉田歩乃可さんが、お礼のことばを述べました。

## S1グランプリ2019 決定！



3年 佐々木 里緒さん  
「誇りをもてる人生を」  
2年 佐々木 陽向くん  
「なぜ人は働く？」  
1年 杉山 咲さん  
「為る 成る なるせ図書館」



## 読書のすすめ

☆ 本を読める人には、集中力があります。仕事に不可欠な集中力は、読書で得られます。また、本を読むと、理解できない考え方、見方に出会います。こういう刺激を受けて、人は変化が強くなります。人間のキャパ(受容力)を広げていくのが読書の力なのです。

さらに本を読めば、手のひらが熱くなります。それは、脳が活性化している証拠なのです。

学校では、生徒たちに冬季休業中の読書(少なくとも1冊)を勧めています。